



市民参加と専門家協働をめぐる論点整理

－まちづくり・科学技術・政策実践における社会的・倫理的課題－

都市経営学部都市経営学科 准教授 山本 千寛

キーワード

市民参加、専門家－非専門家の協働、都市・社会思想、技術者倫理

該当するSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 研究内容

日常生活や都市のあり方、そして科学技術とともにある社会を、生活者が自ら構想し、作り直していくための手がかりを、都市・社会思想や現代の具体的な事例のうちに探っています。

- (1) 生活者主体のまちづくりや都市社会の自治(自主管理)をめぐる思想研究
都市に住まう生活者には、「この街でこんな風に暮らしたい！こんな生活を実現したい！」と訴え、要請する権利(「都市への権利」)がある——このように提起したフランスの思想家アンリ・ルフェーヴルの思想を中心に、都市・社会思想を研究しています。
- (2) 科学技術と社会の関係をめぐる学際的研究
サブ・テーマとして、セルフビルドをはじめとする非専門家の技術実践や、非専門家と専門家の協働、専門職倫理・技術者倫理等を対象に、科学技術と社会の関係についても研究しています。

2 連携可能性のある研究分野、又は、これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

- ・まちづくり・都市計画・地域政策における生活者主体・住民主体の取り組みに関する論点整理
- ・科学技術の活用・導入や、専門家－非専門家の協働にともなう社会的・倫理的課題の整理、文献調査
- ・専門職倫理・技術者倫理、専門家の責任をめぐる文献調査、事例調査や、各種研修・講演への協力
- ・住民・利用者・当事者の訴えや要請を起点とする自治や、生活者の実践に関する事例研究・共同研究
- ・審議会・協議会・各種委員会等の外部委員、図書選書、市民対話・ワークショップ等での協力

これまでの連携実績

- ・都市空間と芸術をめぐる対話イベントでの話題提供・鼎談
(「ラボカフェ／鉄道芸術祭」vol.10、京阪電車なにわ橋駅アートエリア B1)
- ・気象制御技術をめぐる市民対話のファシリテーション
(ワークショップ「台風を操る！？ 未来の技術「気象制御」は何をもたらす？」、主催：ムーンショット目標8研究開発プロジェクト、共催：東京大学生産技術研究所ほか、鹿児島県肝付郡肝付町)
- ・科学者とアーティストの異分野間対話における媒介役
(「ファンダメンタルズ・パザール 2026」、山口情報芸術センター)